

原点に戻り、ピンチをチャンスに

大阪屋外広告美術協同組合
理事長 山崎 雅雄



あけましておめでとうございます。

みなさま方におかれましては、お健やかに新春をお迎えることとお慶び申し上げます。特に100年来の不況の中で頑張ってきてられて、新たな決意と期待は特別であろうと拝察いたします。

日頃は大広協の組合運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。厳しい環境下にあっても組合本来の業務、事業、行事は運営させていただいておりますが、ご承知の通り、近広連でのSIGN EXPOが不況の波を受け、初めて収益が得られなくなり、その中枢を担う大広協の財政にも影響を及ぼしております。加えて組合員の減少もそこへ拍車をかけています。

わが国経済は、いまだに回復の兆しは見えず、円高、株安、デフレの伸長、更にドバイショックまで加わり、業況は厳しさが増すばかりです。この様な時こそ慎重さがなによりですが、萎縮は禁物です。私達の業である屋外広告の使命は、明るさを広げることでもあるからです。

まずは組合員の増強を計り、財政の立て直しを推進しなければなりません。それには原点に立ち戻り、組合員へより多くのメリットを考えねばならないと思っています。共

同受注、共同購入など直接的なこと、各種研修会・講習会、より早い情報提供など間接的なことを活発に行い、組合員のための組合であるべきです。是非ともみなさまのご意見、ご要望、お考えなど多くお寄せいただきたく思っています。各委員会で叡智を絞り、できることから行動してまいります。ご協力をお願いいたします。

日広連では新公益法人制度に伴い、精力的に検討がなされています。あと4年の期限内に方向性が決まります。大広協への影響も少なからずあり、動向を注視し、協力が必須です。

屋外広告業の登録も定着し、初めての更新準備も必要になってまいります。官民連絡会議などを通じて「みなし特例制」の推進も図らねばなりません。

いずれにしましても、わが業界は大転換期の最中にあります。「虎の威を借りる」ことなく身を引き締めて組合運営に処してまいりますので、ご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、この一年、組合員各位の益々のご隆昌を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

目次

| | |
|------------------|-------|
| 新年メッセージ | 3～6 |
| いつまでもお元気で | 7 |
| 寅年生まれ どうぞよろしく | 7～9 |
| おめでとうございます〈各種表彰〉 | 9 |
| 委員会だより | 10～12 |
| 組合員増強キャンペーン実施中 | 表3 |

| | |
|-----------------|-------|
| 第49回公共サイン美術展 | 13～14 |
| 支部だより | 15～16 |
| 青年部・OK会報告 | 17 |
| どうぞよろしく〈組合員の動き〉 | 17～18 |
| 行政からのお知らせ | 20 |
| 事務局だより | 22 |

広告目次

| | |
|------------|----|
| 協和電工株式会社 | 表4 |
| 東西電気産業株式会社 | 19 |
| 新和興業株式会社 | 21 |

| | |
|------------------|-----|
| 三和サインワークス株式会社 | 22 |
| 組合員・賛助会員《新年名刺広告》 | 23～ |